

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

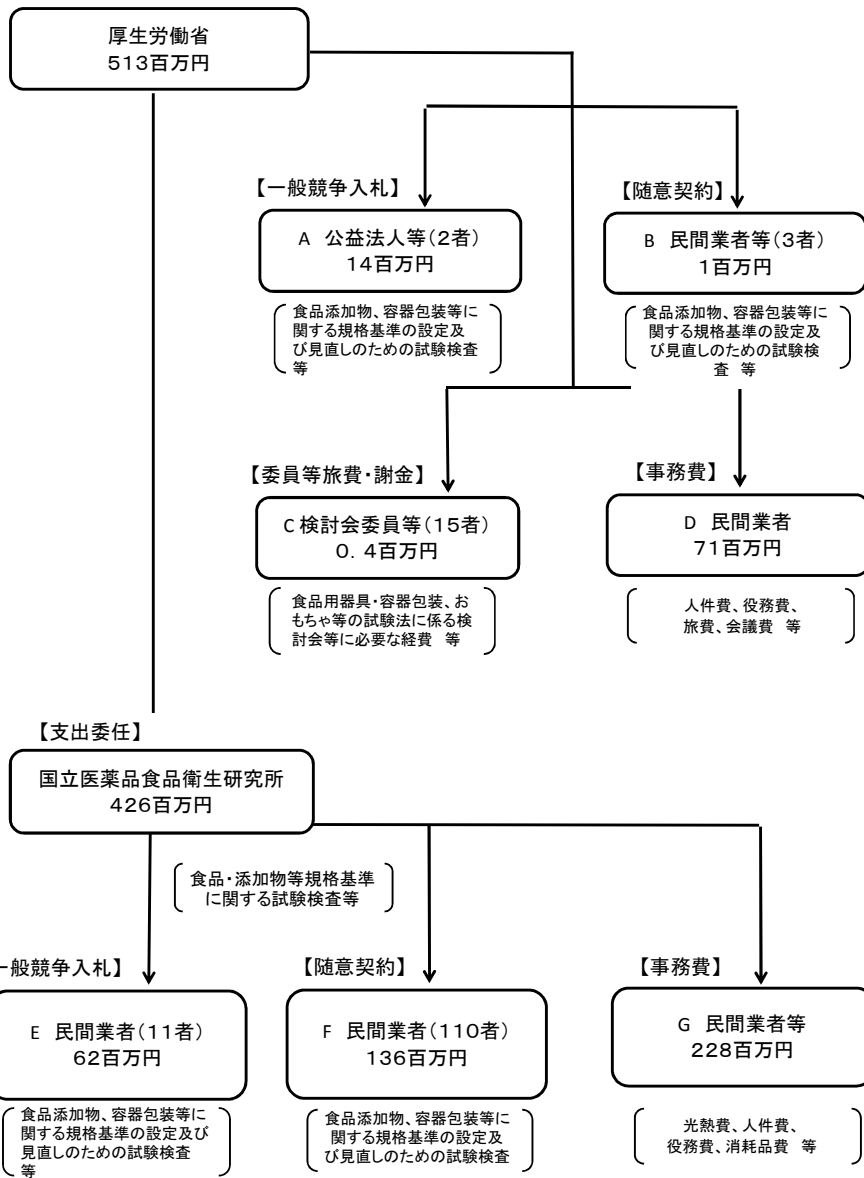
事業名		食品添加物、食品用器具・容器包装等の安全性確認の計画的推進事業			担当部局庁	食品安全部			作成責任者	
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし		担当課室	基準審査課			山本 史	
会計区分	一般会計				政策・施策名	II-1-1 食品等の飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	食品衛生法第10条、11条(添加物)、食品衛生法第18条、62条、食品安全基本法第24条(食品用器具・容器包装)				関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策					主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	最新の科学的知見により、食品添加物等の規格を整備するとともに食品及び食品用器具・容器包装等への化学物質の使用基準を設定・検証することにより、食品の安全性を確保する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	食品添加物等の規格基準の設定・再評価のため、バイオテクノロジーの進歩を踏まえた化学物質の分析試験を実施し、使用及び流通実態の調査結果と併せ暴露量を推定し、制度設計を検討する。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求				
	予算の状況	当初予算	623	566	516	586				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計	623	566	516	586	0				
執行額	507	503	513							
執行率(%)	81%	89%	99%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-			
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績						
	食品添加物の指定等は、指定等要請者(事業者)からの指定等要請に基づき指定等を行う制度となっていること、また、既存添加物の安全性評価については、安全性評価に関するデータ収集の状況によって、進捗状況が異なることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。			指定等要請者(事業者)からの要請に基づく食品添加物の新規指定の迅速化を目標に、平成24~26年度の各年度にそれぞれ、9、6、8品目の指定を行った。また、既存添加物の安全性評価数についても同様に迅速化を目標に、0、3、2品目の安全性評価を行った。						
	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度		
	必要な規格基準の設定のため、有識者による部会等での審議	食品添加物の指定等に向けた部会の開催頻度	実績	件	9	10	8			
		目標値	件	6	6	6	6			
		達成度	%	150	166.7	133.3				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	新規添加物の成分規格分析・検査の実施数	活動実績	件	2	7	4				
		当初見込み	件	(-)	(-)	(-)	(-)			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	一日摂取量調査を行った食品添加物数	活動実績	件	24	17	21				
		当初見込み	件	(-)	(-)	(-)	(-)			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	既存添加物等の変異毒性試験の実施数	活動実績	件	19	10	23				
		当初見込み	件	(-)	(-)	(-)	(-)			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	既存添加物等の反復投与毒性試験の実施数	活動実績	件	14	10	10				
		当初見込み	件	(-)	(-)	(-)	(-)			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	単位当たりコスト = X / Y		1試験	8.6百万円	11.4百万円	8.8百万円	10.1百万円			
	X:「執行額」 Y:「活動実績」	計算式	X / Y	506,600千円 / (2+24+19+14)	503,117千円 / (7+17+10+10)	512,525千円 / (4+21+23+10)	586,082千円 / (4+21+23+10)			
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	0								
	職員旅費	2								
	委員等旅費	1								
	庁費	2								
	食品等試験検査費	581								
計	586	0								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	食品添加物は現代の食生活に必要不可欠なものであり、また食品用容器包装等に使用される化学物質の中には人体への有毒性が懸念されているものもある。国民の食の安全に関する不安感が高まっている中、これらのリスク管理を行うために実施する本事業は、国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	食品衛生法に基づき国が基準の設定等を行うために必要なデータの収集や設定した基準を継続的に検証する本事業は、国が実施すべきものである。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	最新の科学的知見により、食品添加物等の規格を整備するとともに食品及び食品用器具・容器包装等の化学物質の使用基準を設定・検証することで、食品の安全性を確保するため、優先度の高い事業となっている。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札及び少額の随意契約を行っていることから妥当である。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札による調達によりコスト削減に努めている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業は添加物等の安全性試験及び新規指定などに必要な経費に限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	試験に用いる試薬の一括購入等を行い、試験の質を担保し、できる限りのコスト削減に努めている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	食品添加物の指定等に向けた部会の開催については、目標を上回る頻度で開催することができており、成果目標に見合ったものとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	最新の科学的知見に基づき試験等を実施しており、実効性の高い手段となっている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	安全性の評価や一日摂取量調査については、その結果をホームページで公表している。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<p>本事業の調査結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するための重要なデータであり、コーデックス委員会等の国際会議及び薬事・食品衛生審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容であるよう努めている。</p> <p>平成26年度は、本事業の結果を踏まえて薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会での議論を経て新たに添加物8品目が指定された。また、一日摂取量調査の報告については添加物部会にて報告し、既存添加物の安全性評価検討については調査で得られたデータに基づいて検討を行ったところであり、本事業は事業目的に沿って適切に行われていると考える。</p>				
	改善の方向性	<p>当該事業は食の安全確保のために必要不可欠な事業であるため、大幅な予算削減は不可能であるが、試験に用いる試薬の一括購入等を行い、試験の質を担保し、できる限りのコスト削減に努めているところである。</p>				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	328	平成23年度	298	平成24年度	257	
平成25年度	301	平成26年度	313			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)住化技術情報センター			E.島津サイエンス東日本(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役員費	指定添加物(食用赤色104号及び食用赤色105号)の評価依頼に向けた調査事業	9	備品費	液体クロマトグラフ質量分析計 1式	16
計		9	計		16
B.			F.WDB(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出該当なし		役員費	試験研究業務等のための人材派遣業務	18
計		0	計		18
C.			G. 資金前途官吏		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出該当なし		人件費	給与・賞与	117
計		0	計		117
D.資金前途官吏			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	給与・賞与	49	-	-	-
計		49	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)住化技術情報センター	指定添加物(食用赤色104号及び食用赤色105号)の評価依頼に向けた調査事業	9.3		48%
2	(一財)材料科学技術振興財団	食品用途におけるナノマテリアル安全対策調査事業	4.5		59%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士テレコム(株)	添加物関係評価資料の電子媒体変換業務	0.5	随意契約	-
2	(株)クロスインデックス	通訳(日←英)米政府における食品添加物の規制等に関する調査	0.4	随意契約	-
3	(株)ホンヤク社	翻訳(独→日)Flax Article - Schilcher - Phytopharmaka bei Magen-und Darmerkrankungen 外3件	0.3	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	食品用器具及び容器包装の規制のあり方に係る検討会出席謝金 他7件	0.1	-	-
2	個人B	食品用器具及び容器包装の規制のあり方に係る検討会出席謝金 他7件	0.1	-	-
3	個人C	食品用器具及び容器包装の規制のあり方に係る検討会出席謝金 他5件	0	-	-
4	個人D	食品用器具及び容器包装の規制のあり方に係る検討会出席謝金 他2件	0	-	-
5	個人E	食品用器具及び容器包装の規制のあり方に係る検討会出席謝金 他2件	0	-	-
6	個人F	食品用器具・容器包装等の試験法に係る検討会出席旅費	0	-	-
7	個人G	食品用器具・容器包装等の試験法に係る検討会出席謝金 他1件	0	-	-
8	個人H	食品用器具・容器包装等の試験法に係る検討会出席謝金 他1件	0	-	-
9	個人I	食品用器具・容器包装等の試験法に係る検討会出席謝金 他1件	0	-	-
10	個人J	食品添加物等安全性評価検討会出席謝金 他1件	0	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	資金前渡官吏	給与・賞与	49	-	-
2	(有限)タケマエ	消耗品の調達	8	随意契約	-
3	東京都個人タクシー協同組合	タクシー利用料	7	随意契約	-
4	八重洲電気(株)	中央合同庁舎第5号館6階603号室LAN配線工事等	2	随意契約	-
5	富士ゼロックス(株)	複写機の保守及び物件に必要な消耗品の供給	1	随意契約	-
6	東芝ソリューション(株)	厚生労働省ネットワークシステムの端末等増設及び移設作業	0.7	随意契約	-
7	個人A	SANCO及びWHO等の情報収集等旅費	0.5	-	-
8	個人B	SANCO及びWHO等の情報収集等旅費	0.4	-	-
9	個人C	食品添加物や農薬等の規格基準設定に関する調査旅費	0.3	-	-
10	個人D	食品添加物や農薬等の規格基準設定に関する調査旅費	0.3	-	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島津サイエンス東日本(株)	液体クロマトグラフ質量分析計 1式	16.3		83.7%
2	(株)バイオテック・ラボ	平成26年度 DNAマイクロアレイ解析システム 保守 1式 1ヶ年	4.1		100%
3	(株)バイオテック・ラボ	UPLC用シングル四重極型質量分析装置 1式	3.3		98%
4	(株)バイオテック・ラボ	UPLC用シングル四重極型質量分析装置 1式	3.3		98%
5	(株)ボソリサーチセンター	指定添加物等の安全性に関する試験(δ-ドデカラクトン外6物質に係る染色体異常試験) 一式	6.4		69%
6	(株)ボソリサーチセンター	指定添加物等の安全性に関する試験(β-カリオフィレン)に関する90日間~ 一式	2.6		28.6%
7	(株)シミックバイオリサーチセンター	指定添加物等の安全性に関する試験(5-ヘキセニルイソチオシアネート外4物質に係る染色体異常試験) 一式	4.4		53.3%
8	(株)シミックバイオリサーチセンター	指定添加物等の安全性に関する試験(インドール)10物質に係る復帰突然変異試験) 一式	2.3		48.2%
9	(株)シミックバイオリサーチセンター	指定添加物等の安全性に関する試験(δ-ドデカラクトン)に関する復帰突然変異試験) 一式	2.4		34.3%
10	(一財)食品薬品安全センター 薬野研究所	指定添加物等の安全性に関する試験(trans-2-ヘキセノールに関する復帰突然変異試験) 一式	2.6		31.1%
11	(一財)食品薬品安全センター 薬野研究所	指定添加物等(L-アスコルビン酸2-グルコシド外4物質に係る染色体異常試験) 一式	3.4		51.7%
12	(一財)食品薬品安全センター 薬野研究所	指定添加物等の安全性に関する試験(ラズベリーケトン)1物質に係る復帰突然変異試験) 一式	0.45		55.6%
13	(一財)化学物質評価研究機構	指定添加物~(2-フランメタンチオール)外4物質に係る染色体異常試験) 一式	4.3		62.7%
14	(株)帝国理化	LC/MS/MSシステム 1式 保守 1ヶ年	4.1		100%
15	(株)DIMS医科学研究所	指定添加物等の安全性に関する試験(2-メチルブチリクアシド)に関する染色体異常試験) 一式	3.7		29.9%
16	(一財)東京顕微鏡院	食品中のリン酸化合物含有量調査 一式	2.2		69.1%
17	(一財)日本冷凍食品検査協会	市場流通するアマニ製品(生及び焙煎等加工品)のシアン濃度実態調査 一式	2.2		82.3%

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	試験研究業務等のための人材派遣業務	18	随意契約	-
2	(株)バイオテック・ラボ	0.3ml スクリューバイアル透明 PP 2点 外3点 他93件	16	随意契約	-
3	(株)池田理化	2.3-ペンタンジオン EP 25ML 東京化成 PO051 1点 他81件	14	随意契約	-
4	(株)リクルートスタッフィング	試験研究業務等のための人材派遣業務	6	随意契約	-
5	(株)伊藤サプライ	3M はってはがせる両面テープ 30片 880S 1点 外1点 他71件	6	随意契約	-
6	尾崎理化(株)	OT0031-2B アセトニトリル-Plus HPLC用 3L 2点 外1点 他105件	5	随意契約	-
7	島津サイエンス東日本(株)	206-52458-91 ミストセパレーターキット 1点 他15件	4	随意契約	-
8	マイルストーンゼネラル(株)	ATC用スプリング 1点 外7点 他8件	4	随意契約	-
9	(株)ボソリサーチセンター	指定添加物の安全性に関する(酢酸ビニル樹脂に関する90日間反復投与毒性試験) 一式 他1件	3	随意契約	-
10	宮崎化学薬品(株)	0.01mol/l硝酸銀容器(N/100) 1点 他61件	3	随意契約	-

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	資金前渡官吏	給与・賞与	117	-	-
2	東京電力(株)	電気料	69	随意契約	-
3	東京ガス(株)	ガス料	16	随意契約	-
4	東京都水道局	水道料	10	随意契約	-
5	(株)有隣堂	平成26年度 外国雑誌 1式	4	随意契約	-
6	日本無機(株)	3号館P3実験室HEPAフィルタ交換 他6件	3	随意契約	-
7	Elsevier B. V.	平成26年度 サイエンス・ダイレクトの利用 1ヶ年	2	随意契約	-
8	丸善(株)	Advances in Cancer~ vol. 121~ 1点 外4点 他3件	1	随意契約	-
9	(株)日立ビルシステム	8号館空調機室ターボ冷凍機(RC-1-1)交換部品 一式	0.9	随意契約	-
10	高信化学(株)	CR-2W/4PF リチウムイオン電池 1点 他2件	0.7	随意契約	-